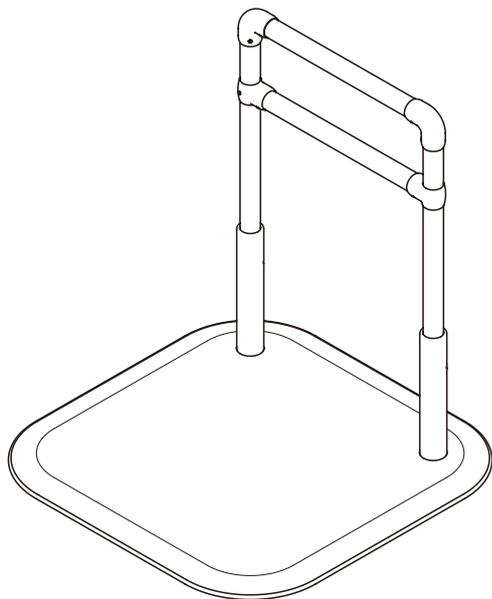


たちあっぷ® II

品番：CKH-21

目次

！ 安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. ご使用方法	4
3. 設置上のご注意	4
4. 構成部品	6
5. 各種部品表	6
6. 組立手順	7
7. ご使用前の確認	11
8. お手入れ方法	11



CKH-21

お買い上げありがとうございます

販売店様：この説明書は必ずお客様に説明してからお渡してください。

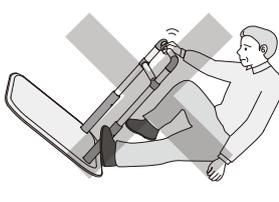
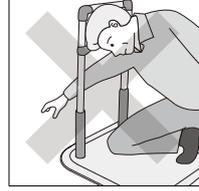
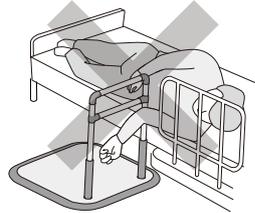
ご利用者様：使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

<p>！警告</p>	<p>誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。</p>	<p> 禁止</p>	<p>してはいけない内容です。</p>
<p>！注意</p>	<p>誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。</p>	<p> 必ず守る</p>	<p>必ず守っていただく内容です。</p>

1. 使用上のご注意

<p style="text-align: center;">！警告</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">禁止</p>	<p>● 起き上がり・立ち上がり補助、移乗補助、歩行補助以外の用途では使用しない。 踏み台、いす、はしごなどの用途では使用しないでください。</p>
	<p>● ベースに乗っていない状態で必要以上に水平方向に力を加えない。 手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり転倒事故やケガの原因になります。 手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。</p> <div style="text-align: right;">   </div>
	<p>● 手すり引抜き方向に力を加えない。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
	<p>● 子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。 事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、手すりの上に乗ったりしないでください。</p>
	<p>● 手すりフレームに頭や手、脚を入れない。 窒息や骨折のおそれがあります。</p> <div style="text-align: right;">   </div>
	<p>● 手すりフレームとベッドやマットレスとの間に頭や体、手、脚を入れない。 窒息や骨折のおそれがあります。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
	<p>● 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しない。 利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。 ※重度者（特に介護度4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行った上で使用してください。 また、ご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談し、適切な処置を受けてください。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">必ず守る</p>	<p>● 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。 お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。</p>
	<p>● 固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況を確認の上、使用する。</p>
	<p>● 利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止する。 ご使用を再開される場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。</p>

 必ず守る	<p>●車いすから立ち上がりや移乗の際は必ず車いすのブレーキをかける。 車いすが動いて転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●ベッドやマットレスの横に置く場合は、寝具との間にすき間ができない状態で使用する。 本製品は固定式ではないため、水平方向の力を加えたり、振動によって設置位置がずれてしまう可能性があります。寝具との間にすき間が生じると、身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。常に寝具との間にすき間がない状態で使用してください。 立ち上がりや移乗補助として寝具から離して設置する場合は、寝具とのすき間に身体がはさまらない間隔になるように設置してください。</p>

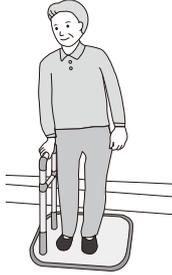
⚠ 注意

 禁止	<p>●2人以上同時に使用しない。 「たちあっぷⅡ」は1人用です。</p>
 必ず守る	<p>●使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。</p>
	<p>●介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合は十分注意する。</p>
	<p>●濡れた手、脚、靴底で使用する場合は、滑りやすいので注意する。 滑って転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●ベースや手すりフレームが濡れた状態で使用する場合は、滑りやすいので注意する。 滑って転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●布団やマットレスで使用する場合は、ベースを敷布団やマットレスの下に差し込み、手すりフレームを寝具と平行に設置する。</p>
	<p>●ベッドサイドで使用する場合は「たちあっぷⅡ」の安定性を確認して使用する。</p>
	<p>●ベッドフレームの下に18mm以上のすき間があるか確認する。 ベッドフレームの下に18mm以上のすき間がない場合、ベースをベッドの下に差し込むことができません。</p>
	<p>●ベースの縁ゴムには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。</p>
	<p>●ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。 使用中にマットがめくれれたり、たるみがあった場合は整えてから使用する。 マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。 また、マットにめくれやたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。</p>
	<p>●マットの上に砂利、雪などがいない状態で使用する。</p>
	<p>●裏面が平らなスリッパや厚手の靴下での使用は滑る場合があるので注意する。</p>
	<p>●すり足で歩くとマットがめくれる場合があるので注意する。 常時すり足でご使用になる場合は転倒のおそれがありますので使用しないでください。</p>
	<p>●移動させる場合は、ベースもしくはスタンド部を持って移動させる。 手すりを持ち上げるとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。 また、引きずると床面を傷つけたり、縁ゴムの外れや破損のおそれがあります。</p>
	<p>●はめ込み式の縁ゴムを引っ張ったり、ベースを引きずったりすると外れる可能性があるため注意する。 構造上ゴムに動きがある場合がありますが、性能（安定性等）に影響するものではありません。 縁ゴムが外れた場合は、縁ゴムを手で押し込んで取り付けてください。</p>
	<p>●結露した場合は乾いた布などで拭き取る。 室内環境によって金属部分に結露が発生するおそれがあります。 結露した状態で放置すると布団や畳にカビを発生させる原因になります。常に拭き取ってから使用してください。</p>
<p>●使用環境・使用状況によっては錆が発生するおそれがあるので注意する。 錆びにくい素材を使用していますが、塩害地や融雪剤などの使用環境または使用状況によっては錆が発生するおそれがあるので、ご注意ください。</p>	
<p>●製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>	

2. ご使用方法

□ 立位保持、動作補助

- ベースに乗り、手すりフレームを持ちながら、直近の歩行補助としてご使用ください。



- 車いすからの立ち上がりを使用する場合は、ベースに乗り、前方の手すりフレームをつかんで体を引き上げるようにして立ち上がります。

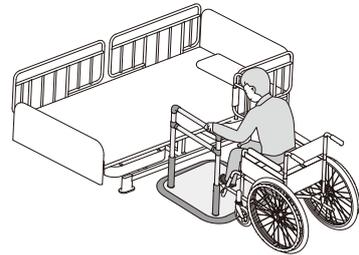


□ 移乗補助

- ベッドや車いすからの立ち上がりを使用する場合は、ベースに乗り、前方の手すりフレームをつかんで体を引き上げるようにして立ち上がります。



- ベッドや車いすからの立ち上がりを使用する場合は、ベースに乗り、手すりフレームとサイドレールを両手でしっかり持ち、立ち上がります。



3. 設置上のご注意

⚠ 警告

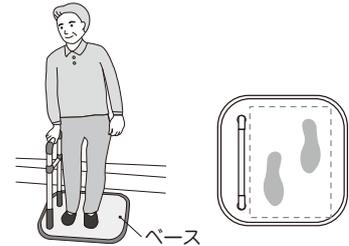


禁止

- **弊社製品と他社製品を組み合わせない。**
破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- **改造・加工は絶対に行わない。**
事故の原因になります。

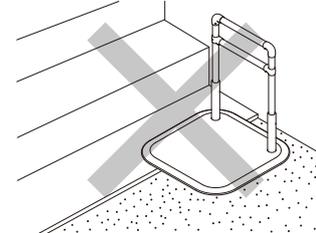
- **設置後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。**

- **歩行補助や水平に力を加える場合は利用者が乗って使用するようにベースを設置する。**



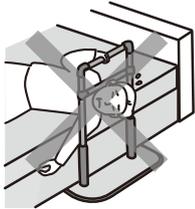
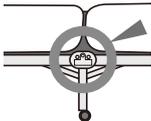
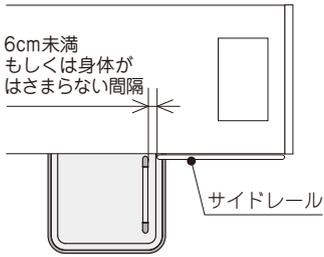
必ず守る

- **平らでしっかりとした丈夫な地面に設置する。**
斜面や砂利・土などの不安定な地面に設置すると、ガタつきが発生し、事故やケガの原因になります。
また、屋外でご使用の際、犬走りからベースの一部がはみ出す場合は、市販のコンクリート板などで設置面を補修し、安定した状態で設置してください。



- **ベッドやマットレスの横に置く場合は、「たちあっぷⅡ」と寝具との間にすき間がないように設置する。**
身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。
ベッドの構造によりすき間が生じる場合は、クッション材や毛布などで埋めるなどしてすき間をなくすようにしてください。
立ち上がりや移動補助として寝具から離して設置する場合は、寝具とのすき間に身体がはさまらない間隔になるように設置してください。



	<p>●ベッドの構造やマットレスの厚みにより頭や体のはさまるすき間が生じる場合は、クッション材や毛布などで埋めるなどしてすき間をなくす。</p>	
	<p>●キャスター付きのベッドで使用する場合は、必ずキャスターを固定する。 キャスターにロック機構がある場合は必ず使用してください。ロック機構がない場合には、キャスターホルダーを使用するなど、必ずベッドが動かないように固定してください。(ベッドは壁に接するように設置すると安定します) ベッドが固定できないと、使用中にベッドが動いて手すりとの間にすき間が生じるので大変危険です。</p>	
<p>必ず守る</p>	<p>●折りたたみベッドで使用する場合は、ベッドの折りたたみ機構を必ずロックして使用する。 ロック機構のない折りたたみベッドでは使用しないでください。</p>	
	<p>●電動ベッドで使用する場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認する。 特殊寝台など、「たちあがらII」が使用できない場合があります。</p>	
	<p>●電動ベッドで使用する場合は、頭や手、脚が入った状態で操作すると、はさまれて身体の傷害や生命にかかわる事故を発生させるおそれがあるので注意する。 電動ベッドで使用する場合は、利用者の身体がはさまらない安全な間隔で設置してお使いください。 また、電動ベッドの手元スイッチは、無意識に触れて誤操作しないように、置く場所に十分注意してください。</p>	
	<p>●お使いの電動ベッドに装着しているサイドレール、介助バーと組み合わせて使用する際は、利用者の健康状態(安全に使用できる状態にあるか)を確認して使用する。 組み合わせて使用する際のすき間は6cm未満もしくは身体がはさまらない間隔になるように設置し、すき間に十分注意して使用してください。身体(首や手、脚など)をはさむすき間があると事故の原因になります。 利用者の健康状態や体調が変化した場合、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。</p>	

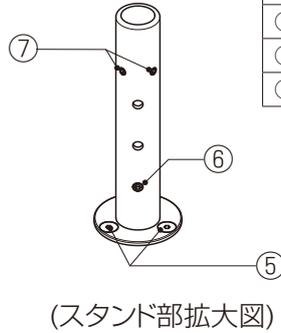
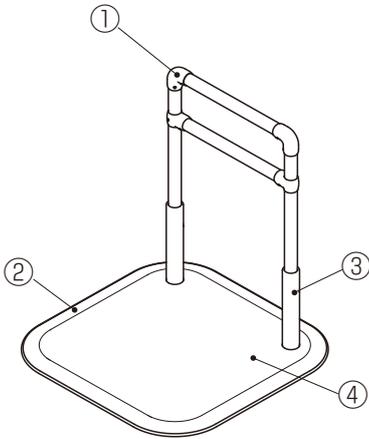
<h2 style="text-align: center;">⚠ 注意</h2>		
<p>禁止</p>	<p>●指定締め付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。(「6.組立手順」で示すトルク値に従って締め付けてください。)</p>	
	<p>●電動工具(電動ドライバー等)を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)</p>	
	<p>●火のそば・熱器具(ストーブ等)の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。</p>	
	<p>●常時、水につかる場所では使用しない。 錆、変質のおそれがあります。</p>	
<p>必ず守る</p>	<p>●組み立て、高さ調整は納入業者が行う。</p>	
	<p>●日光が当たり金属部が熱くなる可能性があるので注意する。</p>	
	<p>●長時間太陽光にさらされると変色・退色する場合がありますので注意する。</p>	
	<p>●手すりフレームは、ベースから外した状態では強度がないので、衝撃や荷重による破損に十分注意する。 輸送・保管する場合は、納入時の梱包用ダンボールを使用して管理することをお勧めします。</p>	
	<p>●クッションフロア材(塩化ビニル製)などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合がありますので注意する。</p>	
	<p>●定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。</p>	

4. 構成部品

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。

CKH-21

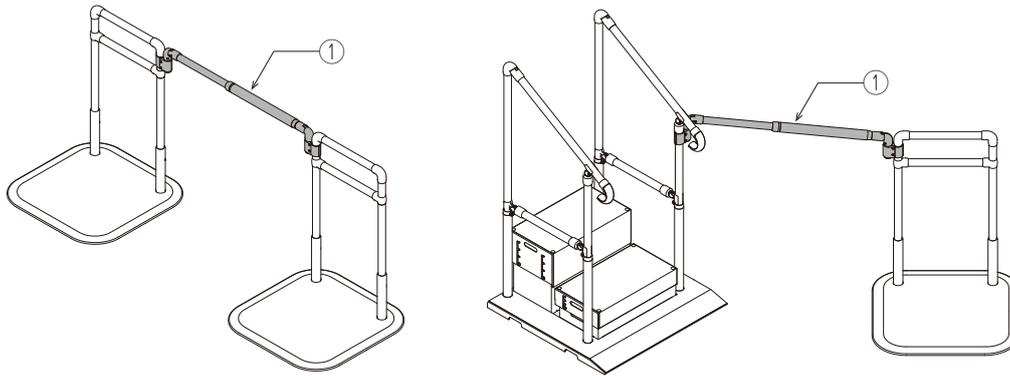
	名称	数量	サイズ
①	手すりフレーム CKH-F21	1	690 × 464mm
②	ベースⅡ	1	660 × 660mm
③	スタンド 34	2	φ 42.7 × 250mm
④	マットⅡ B	1	627 × 627mm
⑤	六角穴付き皿ねじ	6	M8 × 15mm
⑥	六角穴付き止めねじ	2	M10 × 38mm
⑦	六角穴付き止めねじ	4	M8 × 5mm
⑧	六角レンチ	各 1	対辺 4mm・5mm



5. 各種部品表

	名称	材質	部品図
①	手すりフレーム	ジョイント：アルミ パイプ：プラスチック被覆 ステンレスパイプ	CKH-F21
②	ベースⅡ	ステンレス 縁部：樹脂 / アルミ	
③	スタンド 34	ステンレス	
④	マットⅡ B	樹脂	
⑤	六角穴付き皿ねじ (M8 × 15mm)	ステンレス	
⑥	六角穴付き止めねじ (M10 × 38mm)	ステンレス (黒)	
⑦	六角穴付き止めねじ (M8 × 5mm)	ステンレス (黒)	
⑧	六角レンチ (添付工具)	スチール	

※オプション品のご案内



名称	図	説明
① つながるくん XP		手すりフレームを連結して、動線を確認できます。

◇オプション品の詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意



●オプション品を取り付けて使用する場合は、オプション品の取扱説明書も合わせて確認する。

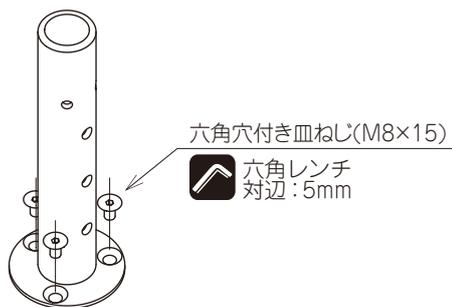
6. 組立手順

※組み立て、高さ調節は納入業者が行ってください。

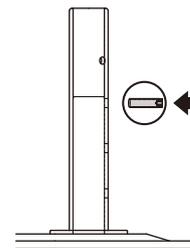
① ベースとスタンドの取付け

スタンド取付位置を確認し、スタンド上側より六角穴付き皿ねじ 3 本でスタンドを取り付けてください。六角レンチで仮止めの状態にしておきます。

※取付位置は<スタンド取付位置図>をご参照ください。

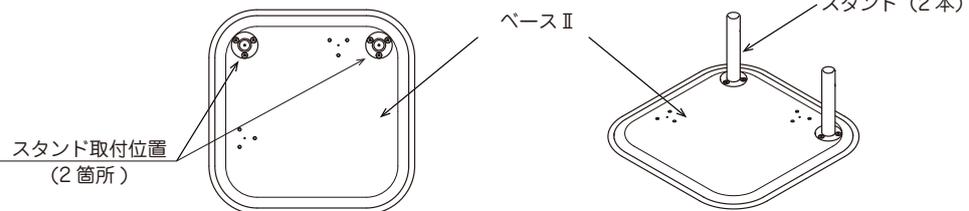


スタンドは高さ調整ねじがベースの外側から取り付けられる位置に取り付けてください



<スタンド取付位置図>

CKH-21



⚠ 注意

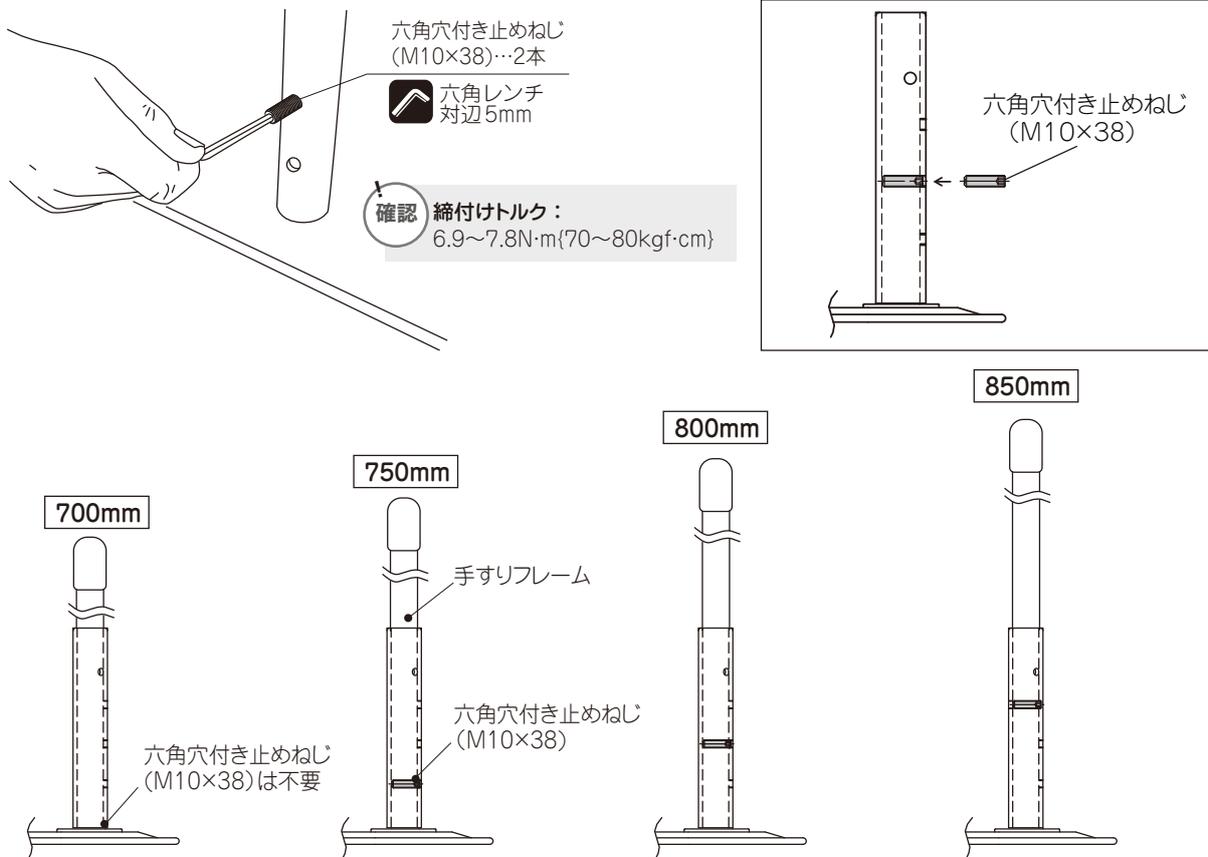


●スタンド・ベース及び手すりフレームは必ず指定の位置に指定のねじで固定する。他の位置にはスタンドを取り付けしないでください。

●ねじは、ねじ穴に対してまっすぐ締め付ける。無理に締め付けるとねじ山の破損の原因になります。

② 手すりフレームの高さ調整

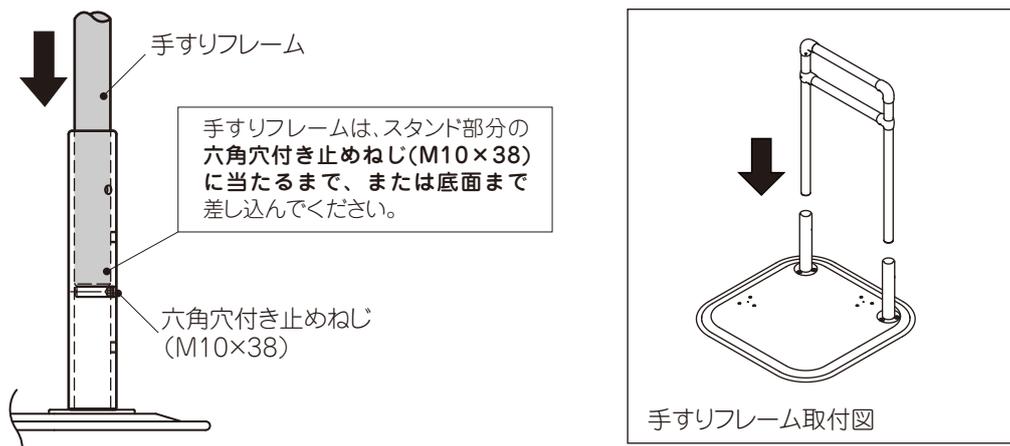
手すりフレームの高さは < 手すりフレームの高さ > の範囲で 4 段階の位置決めができます。
 手すりフレームの高さを決め、高さ調整ねじ穴に六角穴付き止めねじを六角レンチで締め付けてください。
 奥まで締め付け、スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。



⚠ 注意	
 禁止	● 電動工具 (電動ドライバー等) を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)
 必ず守る	● 六角穴付き止めねじ(M10 × 38)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。

③ 手すりフレームの取付け

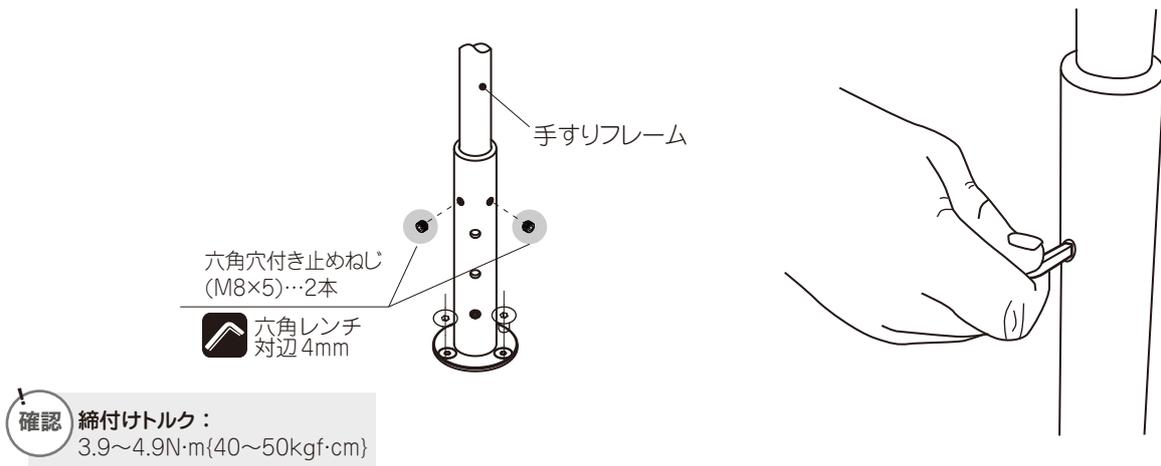
手すりフレームをスタンドに差し込んで、スタンド底面 < 手すりフレーム高さが最低高さの場合 >、
 または六角穴付き止めねじ < 手すりフレームが高さが最低高さ以外の場合 > に確実に当ててください。
 手すりフレームの高さは左右同じになるように、六角穴付き止めねじの位置を決めてください。
 ※ 手すりフレームが取り付けにくい場合、①で仮止めした六角穴付き皿ねじを若干ゆるめてから再度取り付けてください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	●手すりフレームの高さは左右同じになるように設定する。
	●手すりフレームはスタンド底面〈手すりフレーム高さが700mmの場合〉または六角穴付き止めねじ (M10 × 38) 〈手すりフレーム高さが750・800・850mmの場合〉に当たるまで差し込む。 差し込みが不十分ですと、ガタつきの原因になります。

④ 手すりフレームの固定

手すりフレームを差し込んで、六角穴付き止めねじ 2箇所を六角レンチで締め付け、手すりフレームを固定してください。スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。

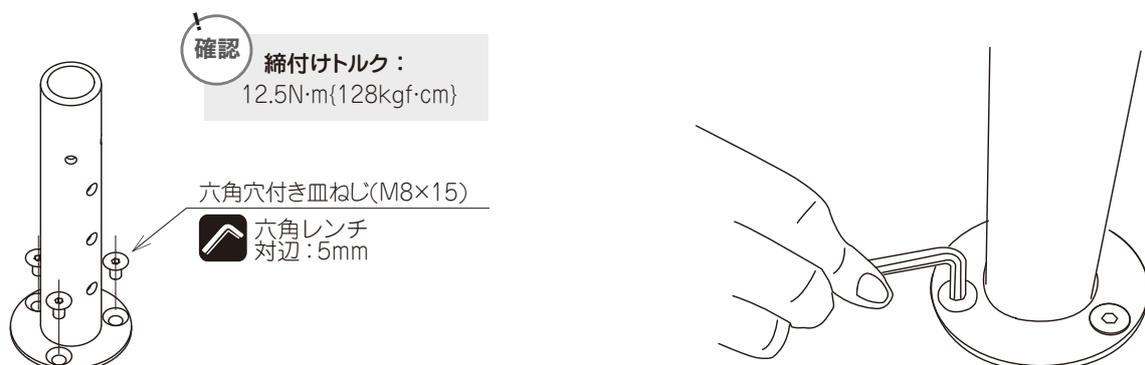


⚠ 注意	
! 必ず守る	●六角穴付き止めねじ(M8 × 5)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。

※繰り返し手すりフレームの高さ調整をした場合、高さによっては傷や六角穴付き止めねじ (M8 × 5) の跡が見える場合があります。

⑤ 六角穴付き皿ねじの締め付け

①で行った仮止め状態の六角穴付き皿ねじ (M8 × 15) を六角レンチにて確実に締め付けてください。



⑥ スタンド・手すりフレーム共にガタつきがないか確認

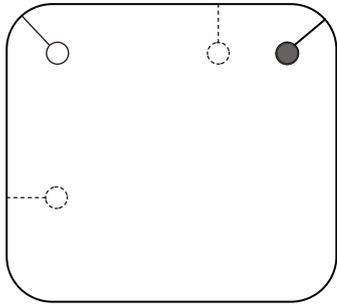
⚠ 注意	
! 必ず守る	●組み立て後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。

⑦ マットの取付け

マットの指定位置をカットする作業が必要になります。下記「切取位置図」で切取位置を確認してから作業を始めてください。

※ ベースマットにミシン目が入っていますので、ベースに取り付ける前にベースマットのミシン目に合わせて折り、軽くクセをつけておくと取り付けしやすくなります。また、切取作業を行う際に、床に傷つけることのないように、マットの下にカッティングボードなどを敷いておくことをお勧めします。

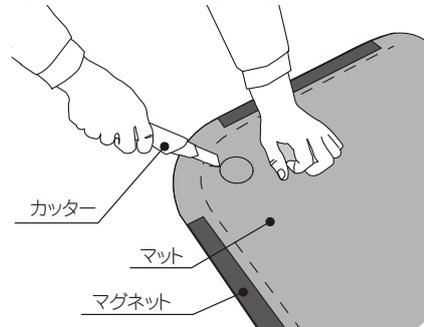
切取位置図



●…切取箇所

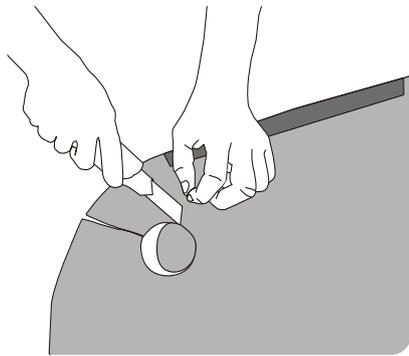
手順 1.

切取位置図を確認し、スタンド部分の円形に向かってミシン目をカットしてください。



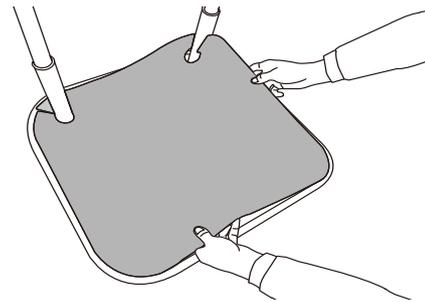
手順 2.

スタンド部分の円形を切り取ってください。



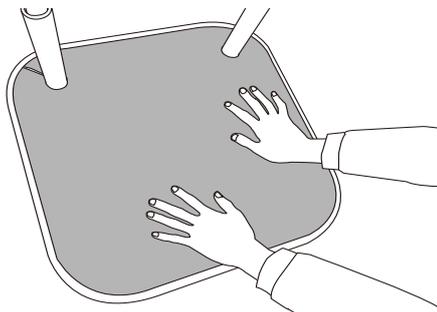
手順 3.

手すりフレームを付けたまま、マグネットがついている面を下にして、切り取った円形とスタンドの位置が合うようにマットをかぶせてください。



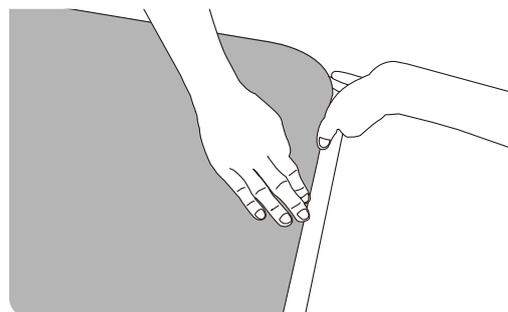
手順 4.

マットにシワができないように、手で軽く押さえながら貼ってください。



手順 5.

ベースと縁ゴムの間にマットの端を入れてください。シワ、たるみが出れば手で押さえてください。



⚠ 注意

 禁止	●たちあっぷⅡのベースに貼り付ける以外の用途では使用しない。
	●マットに重いものや跡が付くもの、傷をつけるような鋭利なものを載せない。 跡が付いたり破れるおそれがあります。
 必ず守る	●ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。 使用中にマットがめくれたり、たるみが出た場合は整えてから使用する。 マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。 また、マットにめくれやたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。

7. ご使用前の確認

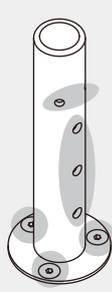
！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。

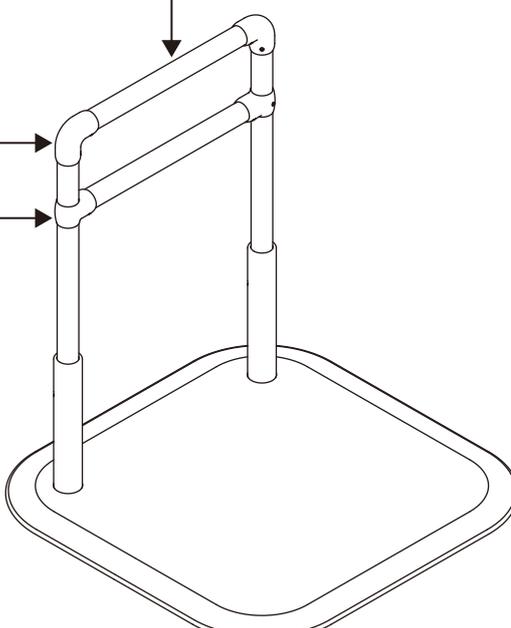
CKH-21

①

手すりフレームにガタつきはありませんか？
→ガタつきや異音がある場合は、スタンドのねじをしっかりと締め付けてください。
(参考：P8～9)
【ねじ締め付け該当箇所】



チェック✓



↓ ②の確認へ

②

手すりや金属ジョイントにガタつきはありませんか？
→ガタつきや異音がある場合はご使用を中止して、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

チェック✓

上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

8. お手入れ方法

8-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。
- スタンドに指紋や手の跡がついているのが気になる際は、水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。 ● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。 ● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的にマットを取り外して乾かす。 濡れた状態で貼り付けたままにしておくと、裏面に汚れやカビが発生し、マグネットが外れる場合があります。

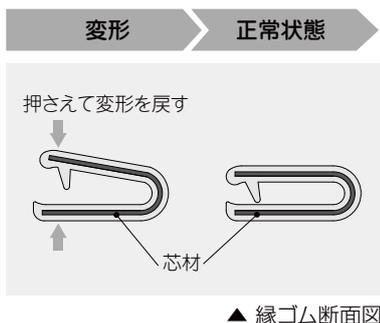
8-2. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの外れや破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの外れや破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

<縁ゴムの再取付>

落下などの衝撃により縁ゴム内の芯材が変形することがあります。
変形すると縁ゴムをはめこんでも、すぐ外れてしまうので、指で芯材を押さえつけてから、はめ込みを行ってください。



再取付手順

(1) 外れた箇所を指で押さえてください。 (2) 手で縁ゴムをはめ込みます。

8-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120倍～300倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

8-4. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管すると、変形、結合部の外れの原因になります。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■ 本社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web
<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北海道支店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東6条北8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙台支店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関東支店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東京支店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神奈川支店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静岡支店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名古屋支店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大阪支店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広島支店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九州支店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

17032211

DW-236-04